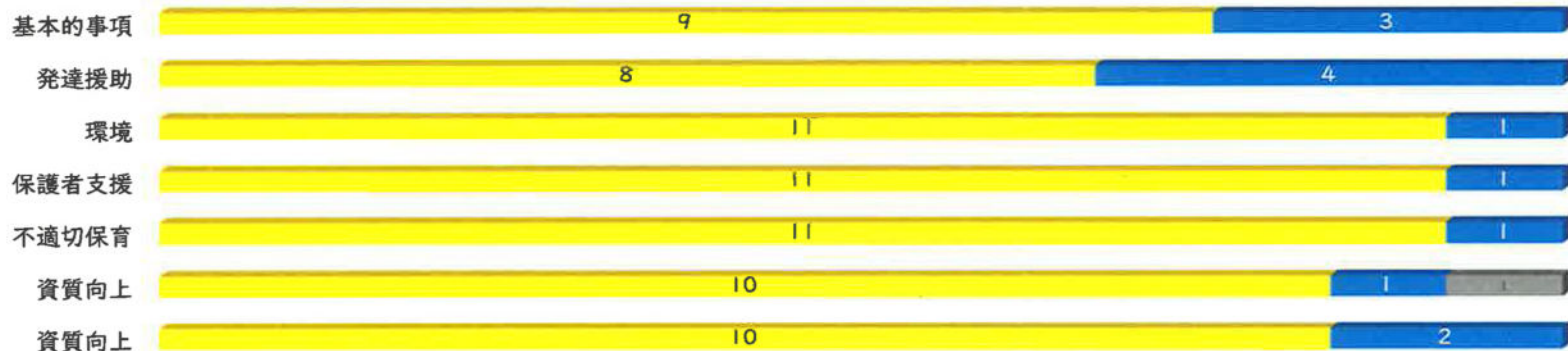


自己評価（非常勤保育士） ※一部抜粋

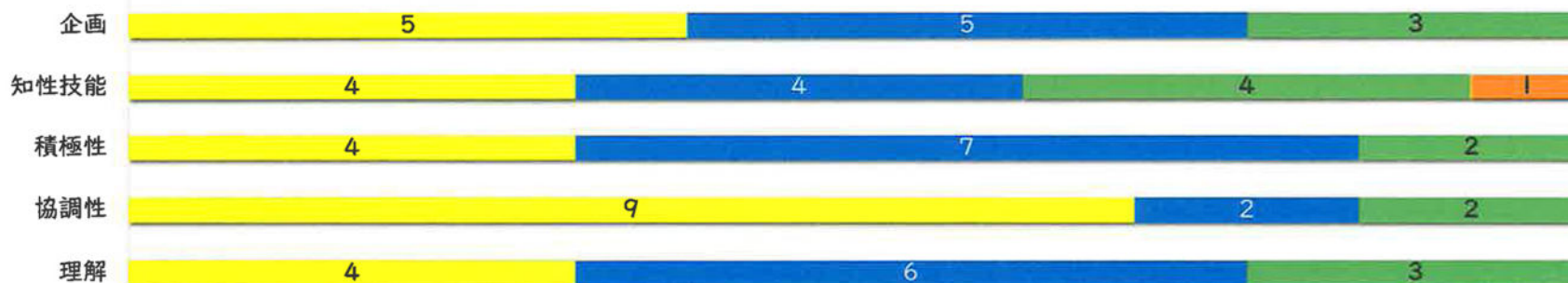
要素	評価項目	自己評価			
		よくできた	おおむねできた	あまりできていない	できていない
基本的事項	子どもの人権に十分に配慮するとともに、こども一人一人の人格を尊重して保育を行っていますか	9	3		
発達援助	子どもひとりひとりの発達状況と子どものおかれている事情を理解し保育を行っていますか	8	4		
環境	保育士の言動一つ一つを子どもはモデルとして学んでいることを知っていますか	11	1		
保護者支援	子どもの日々の健康状態を把握したり情報を共有し、保育を行っていますか	11	1		
不適切保育	物事を強要するようなかかわりや脅迫的な言葉かけをしていませんか	11	1		
資質向上	自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができていますか	10	1	1	
資質向上	たとえ自分のクラスのものではなくても、教材教具などの管理が不備であれば自ら進んで整えることができる	10	2		



自己評価	★自分の得意とする分野を生かし各クラスのサポートができた ★年齢が低い「活動の切り替えが特に難しい子」への対応が難しく感じた ★子どもを見守りながら必要に応じたサポートができた ★子どもがケガをしないように見守って保育をしていたが、手が早く一瞬でお友だちをかじってしまうことがあり、もっと自分の近くに座らせておけばよかったと反省した ★「三つ子の魂百まで」を自分も考え「乳児のうちはしっかりと肌を触れ合う」ことを意識し実行した ★子どもが以前できなかったことができるようになってきているのに手を貸してしまうことがあった。まずはクラスの状況を把握し支援を行う
改善点	★その子に合った声かけや対応を見極める力を身につけたい ★集団保育の中で発せられる子どもの”サイン”を見逃さないようにしたい ★いろいろなクラスの先生とコミュニケーションをとり、さらなる連携を図る ★広い視野を持ち、一人一人がのびやかに過ごせるよう見守っていききたい ★日々体力が衰えてきているので体力の維持向上に努めていく ★担任の先生方がクラス運営にだけ集中できるようサポートを極めたい ★抽象的な伝え方ではなく自分の伝え方で良かったのか、伝えたつもりになっていないかを常に考え工夫した配慮を続けていく ★子どもと過ごす時間がとても楽しく充実した1年だった

自己評価（保育士以外） ※一部抜粋

要素	評価項目	自己評価				
		よくできた	おおいねできた	できた	あまりできていない	できていない
企画	仕事の目的を達成するため効率的な仕事をしたか	5	5	3		
知性技能	仕事をしていく上に必要な専門知識を持ちこれを応用する力をもっていたか	4	4	4	1	
積極性	自主的に業務を工夫し実践できているか	4	7	2		
協調性	同僚との協力精神はあったか	9	2	2		
理解	定期的に自己評価を行い、改善と目標設定に努めたか	4	6	3		



自己評価	★保育士と疾患の勉強会をひらいて情報共有や共通認識を持てるよう努力できた（看護師） ★持病のある子や熱性けいれんの既往のある子を見守りながら保育中の安全性の向上に努めることができた（看護師） ★異物混入が起きないように細心の注意を払う努力ができた（調理士） ★子どもが給食を食べている姿を間近で見ることで、改善点に自分で気づくことができてよかった（調理士） ★思っていたより食育活動が充実させられなかったと感じている（調理士） ★アレルギー児に配慮した献立をたてることができた（栄養士）
改善点	★各クラスの既往歴のある子を把握し、保育士が疾患対応で困った事例をあげながら勉強会へ反映し、内容を濃くしたい（看護師） ★食育活動を見直し、職員全体で取り組めるような内容を目指す（栄養士）